

社会貢献の取り組み

For The Future

「YASKAWA 未来クラブ」の活動

2005年の当社創立90周年を機に、お客様や株主の皆様をはじめ、地域社会の方々などからいただいた多くのご支援に対して感謝の意を表すとともに、CSR(企業の社会的責任)向上や社会貢献の観点も踏まえ、創立100周年に向け新たな企業文化を創造すべく、当社独自の社会貢献クラブ「YASKAWA 未来クラブ」を発足させました。

具体的な活動内容は、その名にちなんで「明るい未来の実現に役立つように」という趣旨に賛同して自発的に入会した当社及びグループ会社所属の社員から給与の一部を継続して拠出してもらい、集まった資金を国内外の医療・福祉、青少年の健全育成、環境保護・緑化などの取り組みに役立てていただいたり、会員自らが様々なボランティア活動に

参加していこうというものです。

発足してから2年、同クラブは「国境なき医師団*1」「ボーイスカウト入間第1団*2」「子供の村福岡を設立する会*3」など社会貢献団体に寄付を行ったり、竹林伐採・里山保全ボランティア*4に参加するなど、各種の活動を積み重ねてきました。

一人ひとりから拠出される金額はささやかですが、多くの社員の参加と地道な活動によって、これからも社会貢献に努めてまいります。



竹林ボランティアの様子

- *1: 同団体は紛争・飢餓や感染症の流行、自然災害などにより世界各地で生命の危機に瀕している人々へ医療・人道援助を行っている「国境なき医師団」の日本支部です。同団体は1999年にはその人道援助活動が評価されノーベル平和賞を受賞しています。
- *2: 当社入間事業所が所在する埼玉県入間市で、青少年の健全育成を目的に積極的に活動を行っているボーイスカウト団体です。
- *3: 世界に広がるNGO(非政府組織)「SOS キンダーdorf(子どもの村)」の趣旨に賛同し、その理念を基本として日本で初めて福岡に子どもの村を設立する(2009年春頃を目標)ことを目的とする組織です。
- *4: 全国で有数の竹林面積を有するといわれる北九州市で、北九州市立大学国際環境工学部デヴァンカー・パート助教授が先頭に立ち、北九州学術研究都市周辺地域の竹林を中心に整備することにより、森林への竹の侵食を阻止し、里山を保全することを目指したボランティア活動です。2001年4月から行われています。

■お問合せ先: 人事総務部 広報グループ
Tel 093-645-8810 Fax 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/index.htm> で公開しています。

07年度のシーズンは、5000m、10000mを中心としたトラックレースから始まりました。ニューイヤー駅伝の7位入賞や、延岡西日本マラソン、熊日30キロロード優勝などの勢いをそのままに、当社陸上部の選手は各地のレースで好成績を収めることができました。

今やエースの小畑選手は日本トップクラスが競う大会で5000m 13分台を安定して記録できるようになりました。

昨シーズンロードで開花したウイリー・キムタイ選手も、トラックレースにおいてもその潜在能力を開花させました。スタートと同時にハイペースでレースを展開し、

5000mで13分台中盤、10000mでも27分台を記録しました。

飛松選手も、レースの随所で勝負強さを発揮し、勝つコツを身につけたようです。

今シーズン特に注目すべきは、新人の北島寿典選手と黒木文太選手です。両新人ともに、積極的にレースを組立て、勝負すべき相手を絞り込むために早目に集団の人数を減らしていくというレースを得意としています。そして、「勝てる」ポイントでスパートを仕掛けてフィニッシュするという堂々たるレース展開です。勝負に対する天性の才能が備わっているようです。

昨年度は駅伝・ロードで好成績を収め、

メンバー全員が自信を持ちました。今年度は、更にチーム全体の底上げを確実なものとし、より強固なチームを築いていけるよう、一丸となって精進してまいります。皆様のご声援を宜しくお願いします。



▲北島寿典選手(九州実業団陸上部)

◆2007年夏のトラックシーズン主な戦績

日程	大会名	実績
5月 5日	福岡県選手権	北島選手: 5000mで大会新記録で1位
5月12, 13日	九州実業団陸上競技選手権	ウイリー選手: 10000mで27分台の安川新記録 黒木選手: 5000mで組別1位 北島選手: 5000mで総合1位 8名が10月の全日本実業団陸上出場資格獲得
5月 26日	ゴールデンゲームズ inのべおか (5000mの組別レース)	小畑選手: 最終組で3位 飛松選手: 組別で1位(13分台の自己新記録) ウイリー選手: 組別13位ながらも13分中盤の安川新記録 黒木選手: 組別で1位

選手の声:

安川電機に入社して、とても良いスタートを切ることができました。今回の結果を自信にして、今後さらに上を目指して競技に取り組んでいこうと思います。